



労働問題ノ上ヨリ觀タル家内工業(1)

氣賀，勘重

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 2(2):135-156

(Issue Date)

1907-02

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051107>



經濟學
商業學

國民經濟雜誌

第貳卷

第貳號

(明治四十年
二月一日發行)

論 說

勞働問題ノ上ヨリ觀タル家内工業(其一)

慶應義塾大學部教授

ドクトル 氣 賀 勤 重

(一) 緒 論

農商務當局者ハ數年前嘗テ、勞働者保護ノ性質ヲ有セル工場法ヲ實施セントシテ、之ガ案ヲ草セシコトアリ。又聞クガ如クンハ近ク勞働保險ノ制ヲ試ミントテ、目下其方案ノ研究ニ從事セラルト云フ。其他當ニ在朝者間ニ於テノミナラズ、在野ノ學者論客中ニモ勞働問題ヲ喋々スル者漸ク増加シ來ルアリ、又敢爲ナル新進氣鋭ノ工業者間ニハ自ラ進ンデ勞働者保護ノ施設ヲ試ムル者モ此處彼處ニ發生シ來

レリト聞ク。大經營的工業漸ク發達シテ所謂資本的生產 (Kapitalistische Produktion) ノ眞面目此ニ少シク其實ヲ現ジ、近世ノ生産組織上ニ於ケル勞働者ノ地位漸ク世人ノ注意ヲ促スモノアルニ及ビテハ、所謂勞働問題ノ汎ク世間ニ論議セラレ、之ガ解決方法ノ學者經世家ノ頭腦ヲ惱マスニ至ルモ、蓋シ當然ノ次第ト云フ可ク、種々ナル勞働政策ノ計畫セラレ實施セラル、ニ至ルモ、敢テ怪ムニ足ラズト雖モ、凡ソ此種ノ施設劃策ニ際シテハ、吾人ハ廣ク社會全局面ニ互リテ事實ヲ觀察シ、一面ニハ其利益效力ノ、普チク利害關係ヲ等シフセル者全般ニ及ブヲ謀ルト共ニ、又一方ニハ其施設ノ他ノ方面ニ及ボス直接間接ノ影響ヲ考察シテ其利害ヲ判定セザル可ラズ。此點ヨリ觀レバ今日勞働問題ヲ喋々スル幾多ノ論者中ニハ其觀察ノ聊カ狹隘ニ失シ其見解ノ少シク偏頗ニ陷レル者ナキカ。吾人熟々當今ノ勞働問題ヲ論ズル者ヲ觀ルニ、問題ノ目標トスル勞働者ト云ヘバ多クハ唯々大工場ノ勞働者、大企業ノ下ニ役使セラル、勞働者ヲ觀ルノミ。敢テ他ニ勞働者ナシト云フニ非ザルモ保護ス可キ勞働者、研究ヲ要ス可キ勞働者ト云ヘバ社會ニ唯リ工場勞働者アルノミ、爾餘ノ勞働者ニ至リテハ社會政策上復々顧慮スルノ必要ナシト爲スモノ、如

シ。縱令ヒ論者立案者其人ノ本心ニハ斯ル偏狹ナル見解ヲ抱持セルニ非ズトスルモ、其表面ニ現ハレタル議論方策ヲ觀レバ少ナクトモ世人ヲシテ斯ル誤解ヲ惹起サシムルモノナキニ非ズ。

勿論工場労働者ハ多數一ケ處ニ集合セルガ爲ニ其不幸慘狀ハ自餘ノ労働者ヨリモ世人ノ注意ヲ惹クコト多ク、又工場労働者ハ他ノ労働者ニ其例ヲ見ザル幾多ノ危険ニ遭遇スルノ虞アリ、從テ特種ノ保護ヲ要スルモノアリト雖モ、然レドモ現今ノ經濟組織ニ於テ不遇訴フルナキノ地位ニ立テル者ハ雷ニ工場労働者ノミニ非ズ、學者經世家ノ研究ヲ要シ國家其他ノ公團體ノ保護ヲ要スル者ハ工場労働者以外ニ其數甚ダ少ナカラザルナリ。労働者保護ノ目的ニシテ單ニ器械其他工場ノ經營ニ伴ヘル弊害ノ救治ノミニ止マラシメバ即チ止ム。苟モ然ラズシテ労働問題ノ解決ハ資本的組織ノ下ニ於ケル労働關係、換言スレバ企業家對労働者ノ關係ヨリ生ズル各種ノ弊害ヲ根絶スルヲ主眼トシ、労働契約ノ締結上、労働時間ノ決定上竝ニ作業場ノ設備ノ上ニ適切ナル干涉ヲ試ミテ、國民經濟上竝ニ社會上ニ於ケル數多ノ弊害ヲ可及的減少セシムルヲ直接ノ目的トスルモノナリトセバ單ニ工場

勞働者ニ對シテノミナラズ、亦所謂家内工業ナルモノ、勞働者ニ對シテモ吾人ハ等シク其實情ヲ調査シ等シク之ヲ保護セザル可ラザルヲ見ル。勞働者ノ身體ニ對スル直接ノ危險竝ニ過度ノ夜業ニ伴フ弊害等ノ如キハ勿論主トシテ工場工業ニ隨伴スルモノナリト雖モ、休息時間ノ不足、過低ノ勞銀、婦女老少ノ虐使等幾多ノ國民經濟的竝ニ社會的弊害ニ至リテハ家内工業勞働者ノ亦等シク之ニ惱ム所タリ、否ナ、或種ノ弊害ニ至リテハ工場勞働者ヨリモ寧ロ家内工業ノ勞働者ニ一層其甚シキヲ見ル所ナリ。

事情正ニ斯ノ如ク而シテ家内工業ノ勞働者亦等シク一國生産ノ一要素ニシテ、一國經濟ノ爲メ將タ又全社會ノ平和的發達ノ爲ニ等シク正當ノ保護ヲ要スルモノナリトセバ、苟モ勞働問題ヲ研究シ勞働者ノ保護ヲ劃スル者ハ常ニ此等ノ勞働者ヲ顧慮シ其地位ノ研究ト共ニ其保護ヲモ策セザル可ラザルナリ。況ンヤ獨リ工場勞働者ノミヲ顧慮シテ其保護ニ熱中シ、工場工業ニ對シテ繁雜ナル干涉ヲ敢テスル其一方ニ、家内工業ヲ擱テ顧ミザル時ハ、徒ニ工場工業ノ發達ヲ沮害シテ家内工業ノ存續及ビ發達ヲ助ケ、實ニ一國生産力ノ發達ヲ沮止スルノミナラズ、勞働者保

護ノ目的ヲ達セズシテ單ニ工場工業ノ方面ニ於ケル弊害ヲバ家内工業ノ方面ニ轉歸セシムルニ過ギザルノ虞アルニ於テヲヤ。更ニ況ンヤ此危險ハ工場工業ノ發達未ダ充分ナラズ一國ノ工業的生産ノ大部分ガ尙ホ家内工業の經營ニ依レル我國現今ノ如キ狀態ニ於テ殊ニ甚シキモノアルニ於テヲヤ。勞働者保護ノ政策若シ一步ヲ過マラハ我工場工業ノ發達ハ爲ニ著シク其勢ヲ減殺セラレ、勞働者ノ地位ハ敢テ改善セラル、コトナクシテ、然カモ生産力ハ大ニ衰頹スルノ結果ヲ見ル可シ。是レ吾人ガ此ニ聊カ家内工業ナルモノ、一般ノ性質ト之ニ對スル勞働問題トヲ略序シ勞働問題ノ解決上當局者ノ一顧ヲ促スト共ニ、學者經世家ノ此點ニ關スル精密ナル調査研究ヲ請ハントスル所以ナリ。

(二) 家内工業ノ一般的性質

然ラハ敢テ問フ、家内工業トハ抑モ如何ナルモノゾ。來府大學ノ教授スチーダハ之ヲ定解シテ曰ク家内工業トハ工作者ガ自宅ニ在リテ營ム所ノ一種ノ工業的行爲ニシテ、其作業ガ所在地方ノ顧客ノ注文ニ應ジ又ハ地方の局部販路ノ需要ヲ満たスヲ目的トセズ、通例一定ノ店舗又ハ輸出業者ノ爲ニ生産スルヲ常トシ、一般ニ

大仕掛ノ販賣ヲ目的トセルモノヲ云フト、(Srieda, Die deutsche Hausindustrie, Schriften des Vereins für Sozialpolitik 39 S. 22.) 教授シユモラーハ曰ク家内工業トハ工業的經營ノ一種ニシテ、其生産ハ生産者ノ家庭内即チ自宅ニ於テ簡單ナル技術ニ依リ手工業的ニ經營セラル、モ、生産物ノ販賣ハ生産者自身ニ依リテ營マレズ、一種特別ナル商業者階級ノ經營ニ委セラル、シ特色トセルモノ一切ヲ總稱スルノ語ナリ、而シテ此場合ニ販賣ノ局ニ當ル商業家ガ自ラ一部ノ技術的作業ヲ生産物ニ加フルヤ否ヤ、將タ又自ラ其自宅又ハ店舗ニ賃銀勞働者ヲ使役セルヤ否ヤハ敢テ問フ所ニ非ザルナリト、(Schmoller, Die geschichtliche Entwicklung der Unternehmung, in Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft 14. S. 1058.) 然ルニ又輓近ゾムバルト教授ハコンラード其他ノ編纂セル國家學大辭典中ニ簡明ニ定義シテ曰ク、家内工業トハ企業家ガ其勞働者ヲシテ各自ノ住宅又ハ作業場ニ於テ操業セシムル資本的企業經營ノ一形式ナリト、(Handwörterbuch der Staatswissenschaft Bd. IV. S. 1138.) 其他前後幾多ノ學者論客何レモソレゾレニ一家ノ言ヲ立テタリト雖モ、要スルニ言フ所ハ何レモ大同小異ニシテ唯々用語行文ノ上ニ多少精粗晦明ノ差アルノミ。家内工業ト

ハ一企業家上ニ立テ生産指揮ノ任ニ當リ數多ノ勞働者ヲハ各自ノ住居又ハ作業場ニ於テ生産ニ從事セシメ、其製造品ノ精製及ビ販賣又ハ販賣ノミヲ該企業家自ラ引受クルノ工業的經營ヲ指稱スルモノナリト云フ一點ニ於テハ、諸家ノ說ニ相違アルコトナシ。

依是觀之、家内工業トハ工業上ニ於ケル一種ノ經營法ニ外ナラザレバ、其特色トスル所ハ工業的技術ノ熟不熟又ハ經營ノ大小ノ上ニ非ズシテ唯々一ニ其生産物販賣ノ組織ノ上ニ在ルノミ。生産ノ技術ヨリ觀レバ家内工業ハ普通ノ所謂手工業(Handwerk)又ハ家庭手工(Hausfleiss)ナルモノト何等ノ選ム所ナク、家内工業ノ勞働者ハ殆ド悉ク此等手工業者ノ其生産的指揮ヲ他ノ企業家ニ抑ギ其生産物ノ販賣ヲ之ニ委スルニ至リタル者ニ外ナラズ。又其經營ノ形式ヨリ觀レバ家内工業ハ工場工業ト等シク所謂資本的大經營ニシテ廣ク販路ヲ全國又ハ國外ニ求メ、復タ單ニ地方の小市場ヲ目的トスルヲナシ。即チ家内工業ハ斯ノ如ク一面手工業ニ類似シ又一面工場工業ニ接近セリト雖モ、然カモ又一方ヨリ觀レバ生産者ガ生産物ノ販路如何ヲ顧慮セズ一切之ヲ生産ノ指揮者即チ所謂元締(Verleger)ニ委シテ唯々

加工作業ノミヲ事トスルハ全然手工業ト趣ヲ異ニシ、又技術上其經營ノ非集中的散在的ニシテ作業一處ニ集中セズ完全ナル分業行ハレザルハ工場工業ト全ク選ヲ異ニセリ。而シテ手工業及ビ工場工業ニ對スル斯ル異同ノ間ニコソ家内工業ノ特色ハ存ズルナレ。ゾムバルト教授簡單ニ此特色ヲ指摘シテ曰ク、生産ノ指揮集中的ニシテ生産ノ執行非集中的ナルコト、生産企業ノ單一ニシテ其經營ノ衆多ナルコト、(Centralisation der Produktionsleistung; Decentralisation der Produktionsausführung: Einheit der Produktions-unternehmung; Vielheit der Produktionsbetriebe) (Conrad u. a., Handwörterbuch a. a. O.)、是ナリト。所言簡ナルモ意盡セリト云フ可シ。要スルニ此經營法ノ特色ハ其勞働者ノ作業ニ非ズシテ企業家即チ生産指揮者ノ地位ニ在リ、其作業ノ技術ニ非ズシテ販賣ノ組織ニ在リ。技術上相互全ク獨立セル數多ノ作業場ガ一企業家ノ支配ノ下ニ聯合統一サル、ノ一事コソ正ニ他ノ經營法ニ其例ヲ見ザル一種ノ特色ニシテ、此聯合統一ノ設定及ビ維持コソ實ニ家内工業的企業家ノ本分タルナレ。從テ企業家ノ其特長トシ頼ム可キ點モ亦生産指揮ノ技術ニ非ズ、必要ナル生産資料ヲ充分ニ所有スルノ一事ニモ非ズ、唯々生産物市場ノ形勢ヲ看取シ機宜ニ應ジテ其

生産ヲ伸縮變更スルノ商業的技能アルノミ。此點ヨリ觀レバ家内工業ノ經營者ハ大工業家ト云ハンヨリモ寧ロ大商人ト云フ可ク、唯々普通純粹ノ商人ト異ナル所ハ他ノ任意的生産ニ係ル生産物ヲ仕入レズシテ躬自ラ其商品ノ生産ヲ指揮スルノ一點アルノミ。他ノ點ニ關シテハ純商業家ト何等ノ軒輊スル所ナキナリ。

家内工業ノ性質大略此ノ如シ。故ニ一方ヨリ觀レバ又家内工業ハ躬自ラ生産物販賣ヲ巧ニスルヲ得ザル數多ノ工業的生産者ガ商才アル一企業家ノ下ニ集マリ其生産物ノ販賣ヲ之ニ委セルモノト觀ルヲ得可ク、歷史上ニ於ケル此工業ノ發達モ亦正ニ此理ヲ示セリ。蓋シ交通益々進ミテ市場ノ範圍漸ク擴張シ、需要供給ノ關係ハ復タ單ニ地方的局部ノ生産ト消費トノ關係ノミニ支配セラレズ、生産ノ方針及ビ分量ハ數地方、數國乃至全世界ノ市場ノ形勢ニ鑑ミテ之ヲ決セザル可ラザルニ至リテハ、生産ノ經營ニハ商業的才能ヲ要スルコト愈々多カラザルヲ得ズ。是ニ於テカ相當ノ資産ト商業的才幹ヲ有スル者ノ起テテ數多ノ小生産者ヲ配下ニ糾合シ、自ラ市場全局ノ形勢ヲ看取スルノ任ニ當リテ配下ノ生産者ヲ指揮スル者漸ク發生スルニ至ルハ自然ノ勢ト云フ可ク、日夜其工作、作業ニ營々トシテ眼識僅ニ

地方一局部ノ形勢ヲ超ユルヲ得ザル自勞自營ノ獨立手工業者ガ經濟上之ニ對抗スルヲ得ズシテ漸次家内工業ノ勞働者ト爲ルニ至ルモ亦自然ノ數ト云フ可シ。十六世紀以來通商貿易ノ進歩ト共ニ歐洲諸國ニ於テ家内工業漸ク勃興シ漸次舊來ノ獨立手工業ヲ壓倒スルニ至リタルモ、將タ又我國ノ工業ガ徳川氏時代ノ中葉以降漸ク家内工業的經營ニ移ルモノ多キヲ加ヘ來リタルモ敢テ怪ムニ足ラザルナリ。サハレ此工業ハ技術上ニ於テハ到底小仕掛タルヲ免レズ、其經營充分大ニシテ分業能ク行ハレ經營者自ラ專心販賣ニ注意スルヲ得ルカ若シクハ専門ノ雇員ヲシテ專ラ販賣ニ從事スルヲ得セシムルガ如キ大企業ニ在リテハ復タ家内工業的企業家ニ依頼スルノ要ナシ。此要アル者ハ唯リ小工業家殊ニ手工業者アルノミ。夫レ小工業家ノミ、故ニ其技術ハ簡單平易ニシテ概テ手工業的ナリ、分業及ビ勞力合同亦從テ充分ニ行ハレ難ク、器械ノ利用ハ殆ド之ヲ見ルコトナク、各作業場ノ經營資本ハ概シテ甚ダ小ナルガ上ニ固定資本ノ如キハ之ヲ見ルコト殊ニ稀ナリトス。然レハ此工業ハ資本的企業ナリ大經營的企業ナリト云フト雖モ、生産上實際ニ資本的大經營的企業ノ利益ヲ生ズルハ唯々原料其他必要品ノ購入及ビ生産物ノ販

賣即チ所謂經營ノ商業的方面ニ之ヲ觀ルノミ、技術的生產即チ貨物產出力ノ上ニ於テハ全ク之ヲ見ルヲ得ザルナリ。販賣上並ニ生産上共ニ小規模ナル手工業ニ比スレバ更ニ一步ヲ進メタルモノニシテ其經濟的生存力遙ニ之ニ勝レリト雖モ、之ヲ販賣上竝ニ生産上共ニ大規模ノ利益ヲ有スル工場工業ニ比スレバ遙ニ劣レルノ經營法タルヲ免レズ。十九世紀ニ入りテ以來數多ノ方面ニ於テ工場工業ノ爲ニ漸次壓迫セラレ、現今尙ホ益々其領域ヲ縮少セラレツ、アルモ亦當然ノ成行ト云可キナリ。畢竟スルニ此經營法ハ經營ノ技術上手工業ト工場工業ノ中間ニ位スルモノト云フ可ク歷史的發達上亦此兩者ノ中間ニ在ルノ狀アリ、(Vergl. Bücher, Die Entstehung der Volkswirtschaft 3. Aufl. S. 175 ff.)。唯々尙ホ種々ノ特長アルヲ以テ幾多工業ノ方面ニ其勢力ヲ失ハズ、依然トシテ工業界ノ一半面ニ於ケル主要ノ經營法タルヲ見ル。

(三) 家内工業上ニ於ケル企業家ト労働者 (労働關係)

此ノ如ク概括的抽象的ニ論ジ來レバ家内工業ノ性質ハ頗ル簡單明瞭ナル可シ。

從テ其組織殊ニ企業經營者ト其勞働者トノ關係竝ニ之ニ關スル利害得失モ亦一見明瞭ナル可キガ如シト雖モ、是レ單ニ家内工業ノ模範的形式ヲ取リテ概論セルガ故ニ然ルノミ、世間ノ實際ニ就テ之ヲ觀レバ紛糾錯雜輕卒ニ判斷シ難ク之ニ對スル政策ハ工業政策上竝ニ社會政策上實ニ最大難關ノ一タルノ狀アルナリ。

即チ先ヅ家内工業ノ經營者換言スレバ其生産ノ指揮者ニ就テ之ヲ觀ルニ此經營者ハ(甲)生産ノ種類及ビ分量ヲ指定シ勞働者各自ヲシテ各自ノ勞力及ビ資本ニ依リ生産ヲ執行セシメ、其生産物ヲ引取リテ販賣スルニ過ギザル純粹ノ取次商人タルコトアリ。(乙)或ハ經營資本殊ニ原料及ビ補助材料ヲ勞働者ニ供給シテ生産ニ從ハシメ、其生産物ヲ一手ニ引受クル資本家兼取次商人タルコトアリ。(丙)或ハ各勞働者ヨリ引取リタル製造品ニ更ニ加工シテ之ヲ販賣スルヲ職トセル取次商人兼工業家タルコトアリ。(丁)或ハ躬自ラ工場主ニシテ其工場作業ニ必要ナル粗製原料品又ハ補助材料品ヲ家内工業的勞働者ニ注文シ、又ハ工場作業ノ一部ヲ使役勞働者ノ餘業若シクハ他ノ勞働者ノ自宅作業ニ托スル工場主兼家内工業經營者タルコトアリ。(戊)將タ或ハ躬自ラ直接ニ勞働者ト取引セズ、仲間代理人ノ媒介ヲ經テ勞

働者ノ製品ヲ引受ケ販賣スル間接ノ取次商人タルコトアリ。又或ハ此等五種ノ資格中二種乃至三種ヲ兼備スル者アリ。從テ其經濟的地位亦一樣ナラズ、甲種ノ經營者ニ在リテハ純粹ノ商人ト其地位頗ル近似シテ實際上其間ノ區別殆ド判然シ難キ場合少ナカラザルト共ニ、丁種ノ或者ニ至リテハ工場主タルノ資格ノミ獨リ重キヲ爲シ家内工業經營者タルノ事實ハ殆ド認識シ難キ場合甚ダ少ナカラズ。加フルニ此等五種ノ形式ノ間亦甚ダ判別シ難キ場合頗ル多キコトナレバ、企業家ノ方面ヨリ家内工業ト然ラザル工業の經營トノ分界ヲ劃然斷定スルハ全然不可能事ト云フ可シ。

次ニ勞働者ノ側ヨリ之ヲ觀レバ家内工業ノ種類ハ更ニ一層複雑ナルモノアリ。教授フイリツボヴィツチ此點ヨリ家内工業ヲ類別シテ曰ク、家内工業ニ五種ノ模型的形式アリ。

(第一)田舎の家内工業 是レ多クハ往古ノ家庭作業即チ紡績、織布、製籠、木工等ノ作業ヨリ發生セルモノニテ、概テ農民及ビ其家族ノ副業トシ營ム所ナレドモ、中ニハ又獨立ノ手工的行爲ト爲レル者モ決シテ少シトセズ。此場合ニ生産物ノ一

部分ハ元締卽チ家内工業經營者ニ引渡サル、モ、他ノ一部分ハ作業者ノ家族又ハ其依頼ヲ受ケタル人ニ依リテ市場ニ賣捌カル、ヲ常トス。而シテ此農民ノ副業ハ概テ古來相傳のニ發達セルモノナレドモ、輒近ニ至リ田舎人民ノ副業進捗ノ爲ニ補助育成サレタル手工業的作業ニ係ルモノモ近來甚ダ少ナカラザルガ如シ。

(第二)副業的家内作業 是レ他ニ主業ヲ有スル人士若シクハ其家族殊ニ婦女子ノ内職トシテ營メル作業ニテ、多クハ家庭教育ヨリ得タル技能又ハ單純ナル手工的行爲ヲ營利的ニ利用スルモノナルヲ常トシ、其勞働作業ニハ全ク組織ナキモノナリ。故ニ此場合ニハ勞働者自身ハ往々自ラ勞働者タルノ地位ヲ自覺セズ其營利作業ハ斷續常ナク恰モ臨時的營業タルノ觀アルモ、然カモ時トシテハ之ヨリ得ル收入ハ當該家族ノ所得ノ一要部ヲ形成スルコトアリ。

(第三)家内工業の手工 トハ獨立シテ工業ヲ營ムノ能力アリ資格アル手工業者ガ或ハ單獨ニ或ハ徒丁又ハ職人ヲ使役シ、將タ或ハ家族ノ補助勞働ヲ用ヒ、自家ノ住宅又ハ作業場ニテ、一定ノ元締ノ注文ニ從ヒ操業タル小工業的經營ヲ云ヒ

而シテ此場合ニ其手工業者ガ他人ヲ使役スル時ハ之ヲ仲繼親方ノ制度ト云ヒ又其經營ガ常ニ専門的ニシテ親方自身亦仕上高ニ從ヒ勞銀ヲ受クルノ仕組ナル時ハ之ヲ個數親方ト名ヅク。家内工業中頗ル廣ク行ハルヽノ經營法ニテ、指物業、製靴業、裁縫業、製傘業、刀劍製造、鞍工、銃砲製造、粧飾品製造等多クハ之ニ屬セリ(第四)、獨立ノ家内作業者 トハ仲繼親方ノ下ニ操業スル職人ノ如ク不獨立ナラズ、然リトテ自ラ一個ノ工業經營ヲ營ムニモ非ズシテ、家内工業經營者ノ爲ニ操業スルヲ本職トセル勞働者ヲ云ヒ、衣類製造ニ從事スル個數賃銀職人及ビ女工ハ多ク之ニ屬セリ。然カモ此種勞働者ノ其作業ニ從事スル方法ハ頗ル種々雜多ニシテ(イ)勞働者ハ或ハ各自其住居ニ於テ作業スルアリ、(ロ)或ハ他ノ家内工業勞働者又ハ仲繼親方ノ住宅又ハ作業場ニ於ケル一作業處ヲ賃借スルアリ、(ハ)或ハ多人數共同シテ一作業場ヲ賃借シ、然カモ其作業ハ前二者ノ場合ト等シク各自別々ニスルアリ、(ニ)或ハ當該家内工業ノ經營ニ全ク關係セザル第三者ノ住居又ハ賃貸作業場ニテ作業スルアリ、(ホ)或ハ其第三者ガ勞働者ト元締トノ間ニ介入スル仲繼人ニシテ然カモ仲繼親方ニ非ザルコトアリ、(ヘ)將タ或ハ元締自ラ作業

場ヲ有シテ之ヲ獨立ノ勞働者ニ賃貸シ、勞働者ハ此作業場ニテ該元締ノ注文ニ從ヒ作業スルコトアルナリ。

(第五)工場作業ノ繼續作業トシテノ家内作業 此種ノ家内工業的作業ハ企業家ガ其工場ニテ執行セシムル作業ヲ勞働者ノ自宅作業ニ托スルモノニテ、工場規定ノ作業時間以外ニ更ニ其作業ヲ勞働者ノ自宅ニテ執行セシムル場合又ハ工場ノ作業ヲ中絶スル場合ニ通例見ル所ノ作業方法ナリ。

ト、(Philippovich, Volkswirtschaftspolitik I. 3 Auf. S. 109-110.) 單ニ所謂標準的種類ノミヲ舉グルモ尙ホ斯ノ如シ。實際上ニハ此等各種類ノ間更ニ幾多ノ變態、幾多ノ中間種類アルヲ想像シ來レバ勞働者ノ種類境遇ノ雜多ニシテ一樣ニ律シ難キモノアル復タ多言ヲ俟タズシテ明ナリ。即チ相當ノ作業場ト幾多ノ職人及ビ徒弟ヲ有セル獨立自營ノ手工業者モ、普通ノ自宅賃仕事業者モ多少ノ餘暇ヲ有スル工場勞働者モ、本業又ハ家務ノ傍ラ多少ノ手工的作業ヲ取り得キ婦女其他ノ人士モ、時々多少ノ餘暇ヲ有スル農業家其他ノ人々モ、何レモ家内工業的勞働者タルヲ得ザルコトナク、而シテ家内工業ニハ其作業ニ相當ノ技術熟練又ハ作業設備ヲ要スルモノ

アレドモ、又斯ル資格竝ニ設備ヲ要セザルノ種類モ甚ダ少ナカラザルコトナレハ苟モ多少ノ閑時間ヲ有スル者ハ此勞働者タルヲ得ザルコトナシ。勞働者ノ種類ノ千種萬様ナルハ蓋シ當然ノ次第ノミ、是ニ於テカ家内工業ノ勞働者ハ其經營者ノ場合ト等シク、一方ニ於テハ純乎獨立ノ手工業者ト明確ノ區別ヲ缺キ、又一方ニ於テハ工場勞働者ト劃然タル分界ヲ立テ難キノ事實ヲ生ズルナリ。

然リ而シテ斯ノ如ク其自身既ニ多種多樣ナル企業家ト勞働者トヲ更ニ兩者ノ關係ヨリ觀レバ、家内工業上ノ勞働關係ハ尙ホ一層雜駁ノ觀ヲ呈スルモノアリ。卽チ今單ニ此關係ヲ律スル形式ヲ觀ルモ左ノ三種ノ別アリ。

(A) 賃仕事制 (Lohnsystem) 勞働者ハ其原料及ビ補助材料ヲ企業家ニ仰ギテ製造ニ從事シ、其仕上ゲタル製作品ノ數量ニ準ジテ契約規定ノ報酬ヲ企業家ヨリ受クルノ仕組ナリ。故ニ此場合ノ勞働所得ハ純乎タル一種ノ個數勞銀ニ外ナラズ。

(B) 賣買制 (Kaufsystem) 勞働者自ラ原料及ビ補助材料ヲ仕入レテ製造シ企業家ハ唯々其仕上ゲタル製品ヲ一定ノ約定代價ニテ買取ルノミナル制度ナリ。故ニ此場合ノ勞働者ノ所得ハ原料補助材料ノ仕入代價ト製作品ノ賣渡代價トノ較

差ヨリ成ルモノナリ。

(C) 仲繼人制 (Faktorensystem)、企業家ト勞働者ノ間ニ一人乃至數人ノ仲繼受負人介入スルノ仕組ニテ、此場合ニ於ケル勞働者ト仲繼人トノ關係ハ賃仕事制ナルコトアリ、將タ或ハ賣買制ナルコトアルナリ。

併シ、前述 (A) (B) ノ場合ニ於テモ作業用ノ器具及ビ器械ハ或ハ勞働者ノ自辨ナルコトアリ、或ハ企業家ヨリ之ヲ勞働者ニ供與スルコトアリ。又 (C) ノ場合ニ於テハ仲繼人ノ職分及ビ種類種々様々ニシテ或ハ單ニ (1) 元締ノ代理人ト爲リ元締ノ爲ニ注文ノ割當、原料補助材料及器具ノ配布、作業ノ監視、製造品ノ蒐集等ヲ爲スニ過キザルモノアリ。(2) 或ハ自家ノ計算ニテ元締ノ注文ヲ引受ケ更ニ自ラ之ヲ眞ノ勞働者ニ注文スルヲ職トセル一種ノ仲間商人タルモノアリ。(3) 將タ或ハ躬自ラ一個獨立ノ生産者ニシテ元締ヨリ一定ノ注文ヲ引受ケ、更ニ其一部分ヲハ他ノ家内工業的勞働者ヲシテ再受負ヲ爲サシムル一種ノ勞働者兼仲間商人タルモノアリ。又 (2) 及ビ (3) ノ種類ニ屬スル仲繼人中ニハ更ニ之ヲ第二ノ仲繼人ニ受負ハシメ、第二ノ仲繼人ハ亦更ニ之ヲ第三ノ仲繼人ニ受負ハシムルヲアリ、遂ニ一定スル所ナク、其

關係千差萬別到底一々之ヲ列舉シ難シ。其利害ハ一概ニ之ヲ斷言シ難キ場合アル可シト雖モ、兎ニ角此種仲繼人ノ手ヲ經ルコト愈々多キニ從ヒ其間ニ徴セラル、手數料ハ愈々多キヲ加フ可ク、然カモ此手數料ハ市價決定ノ理法上必然ノ結果トシテ結局家内工業勞働者ノ所得ヲ減少セシムルノ原因ト爲ラザルヲ得ズ。勞働者ガ爲ニ多大ノ損害ヲ蒙ルノ危險アルハ勿論、數多ノ場合ニ於テ此等ノ仲繼人ハ其勞働者ニ對シ獨占的買取人ノ地位ヲ占ムルガ故ニ、往々此優勝ノ地位ヲ利用シテ教育ナク組織的精神ナク資力亦薄弱ナル勞働者ニ望ミ、之ヲ酷使シテ獨リ其利益ヲ壟斷スルコト甚ダ少ナカラズ。彼ノ英米ノ大都會ヲ初メ西歐ノ都市一般ニ廣ク行ハレテ、勞働者虐使ノ好適例トシ認メラル、所謂膏血制度 (Sweating System) ノ如キモ畢竟此種仲繼人ノ利益壟斷ノ一例タルノミ。即チ膏血制度トハ幾多仲繼人ノ手ヲ經由シ非常ニ低キ勞銀ニテ家居勞働者ヲ虐使スル大仕掛ノ家内工業ノ一種ニシテ、通例貧民勞働者ノ群集セル都會ニ其例ヲ見ル所ニ屬シ、其組織ニ加ハレル人々ハ四種ノ階級ヲ成セリ。其第一即チ此經營ノ牛耳ヲ取リ生産上最高ノ指揮者ヲ以テ目ス可キ人ハ所謂 Exporter ナル大商人大資本家ニシテ常該商品市場全局

ノ形勢ヲ詳知シ、此智識ニ依リテ生産當局者ニ生産ノ種類及ビ方法ヲ指揮スルノ局ニ立チ、其下ニ第二ノ階級タル所謂 Contractor ナル一種ノ仲繼人アリテ最高指揮者ヨリ直接ニ指揮注文ヲ受ケ、更ニ或ハ其注文ヲ第二ノ仲繼人ニ與ヘ若シクハ直接ニ勞働者ニ注文シテ大商人ノ爲ニ仕上ゲタル生産物ヲ蒐集スルノ任ニ當ル。而シテ此注文ヲ執行スルノ局ニ當ル第三ノ階級ハ之ヲ Sweater ト稱シ、直接ニ男女老幼各種ノ勞働者ヲ雇フテ生産作業ヲ執行セシメ、此等勞働者ノ膏血 (Sweat; Schweiß) ヲ絞リテ自ラ利潤ヲ收メンコトヲ期スルモノニ係リ、第四即チ最下ノ階級ハ此膏血絞取者ノ下ニ苦役セラル、男女老幼之ヲ形成スルナリ。此絞血制度ノ一般ニ廣ク行ハル、ハ仕立職、製靴業其他各種ノ服裝品製造業ナレドモ、他ノ諸業ニモ其例又決シテ少ナカラズ。而シテ英國ニ於ケル輓近ノ調査ノ結果ニ據レバ此制度ノ下ニ於ケル勞働者ノ地位境遇ハ最慘最可憐ノ狀ヲ示セリト云フ、(Sombart, *Hausindustrie*, in Conrad u. a., *Handwörterbuch der Statswissenschaften* Bd. IV. S. 1143.) 併シ家内工業的勞働者ノ斯ル慘狀ハ嘗ニ英國ニ止マラズ、爾餘諸國ノ實狀モ亦殆ド英國ニ異ナル所ナキナリ。

ソハ兎ニ角、家内工業ノ經營者及ビ勞働者ハ斯ノ如ク多種多樣ニシテ、兩者間ノ組織關係モ亦斯ノ如ク種々様々ナルヲ得ルコトナレバ、其勞働關係ノ自ラ複雑多樣ナルト共ニ、此經營法ヲ適用シ得可キ生産ノ方面モ亦甚ダ廣キハ蓋シ自然ノ數ナリ。然レバ技術上遙ニ優等ナル工場工業ノ最モ發達セル英米ニ於テスラ手工的技術ヲ要スルコト多キ製造業ノ方面ニ廣ク行ハレテ、今日尙ホ工業上重要ノ地位ヲ占メ、佛獨其他ノ歐洲諸國ニ在リテハ一國工業的生産ノ過半ガ尙ホ此經營法ニ依リツ、アルノ狀アルモ、亦怪シムニ足ラズ。殊ニ技術未ダ充分ニ發達セズ、資本未ダ充實セズ、從テ固定資本窮乏シ工場ノ發達尙ホ幼稚ナルヲ免レザル其一方ニ、交通漸ク進ミテ交易ノ區域漸ク擴張シ、市場ノ需要供給復タ單ニ地方的關係ノミニ支配セラレザルニ至レル我國當今ノ如キ狀態ニ在リテハ、舊來ノ家庭作業及ビ各種手工業ク家内工業的ニ組織セラル、モノ愈々多キヲ加ヘ來リ、工業的生産ノ大部分ガ家内工業的經營ニ歸スルモ、工業發達上當然ノ成行ト云フ可キナリ。況ンヤ人口稠密ニ然カモ廣ク各地ニ散在シテ各種ノ小經營ニ從事シ、各地方各戸多少ノ剩餘勞力ヲ存ズル其一方ニ、資本ノ供給之ニ伴ハザル事情ノ、此傾向ヲ助クルモノ

アルニ於テヲヤ。然レバ試ニ我國ノ主要工業品ヲ見ヨ、綿絲其他二三ノ生産品ヲ除ケバ復タ他ニ主トシテ工場工業ニ依レルモノナク、織物、家具其他ノ内國需要品ハ勿論、輸出、工業品ノ殆ド全部ハ主トシテ家内工業ノ生産ニ係ル商品タルニ非ズヤ。然リ工業品ノ輸出ニ從事スル我國在住ノ内外商人ニ實際ニ於テ多クハ家内工業ノ大經營者タルノ狀アルナリ。是ニ於テカ吾人ハ吾國ニ於ケル勞働問題ノ研究上殊ニ家内工業ノ研究ノ重要ナルヲ見ル。否ナ當今若シ我國ニ攝理救濟ヲ要ス可キ勞働關係アリトセバ、ソハ工場工業特有ノ方面ヨリモ寧ロ家内工業ノ方面ニ多カル可キヲ惟ハズンバアラザルナリ。況ンヤ世界競争ノ渦中ニ立チテ動々モスレバ爾他先進國ノ工場工業ト競争セントスルガ如キ我現今ノ家内工業ニ在リテハ其弊害殊ニ膏血制度ノ弊害ノ如キ特ニ甚シキヲ極ムルノ悞アルニ於テヲヤ。

(以下次號)